

美しいまちなみ大賞 金山町 金山地区

- 所在地：山形県金山町
- 地区面積：42ha
- 応募者：金山地域区長サミット、金山町

■<地区の概要>

当地区は、銘木「金山杉」の産地で知られる金山町の中心部に位置し、江戸時代に羽州街道の宿場町として栄えたところである。街は往時の風情を残し、白壁の土蔵や切り妻屋根の「金山型住宅（木造家屋）」が軒を連ね、地区内を廻る水路網や周囲の山々の緑と調和し、落ち着いた街並みを形成している。

取り組みは1960年代の「全町美化運動」からはじまり、以後、景観をまちづくりの柱にする「街並み景観づくり100年運動」のもと、HOPE計画、景観条例・景観形成基準の制定、景観助成制度の創設などにより「金山型住宅」の街並み整備が進められてきた。また、水と緑の散歩道、空き地を活用した広場や公園、特産の杉材を活用した屋根付き木橋なども整備されている。2006年に「全町一斉クリーン作戦の日」を制定し、町の隅々まで清掃美化活動に取り組むなど、住民が街に誇りを持ちながら質の高い生活文化を楽しんでいる。若者の定住意識も高く、来訪者も増加している。



特産の杉材（金山杉）を活かした「金山型住宅」が建ち並ぶ金山地区の佇まい。



空洞化した住宅地の空き地（4戸分）を町が買収し、「大堰公園」として整備。樹木や池は従前からのものを活用。多くの人に利用されている。



金山町街並み景観条例（昭和61年3月制定）に基づく、切妻屋根に白壁、下見板張りの「金山型住宅」が並ぶ七日町通り。



毎年、ゴールデンウィークのころ、町内の桜が満開となる。夜桜を楽しめるようライトアップを行っている。



戦国時代に開設された水路「大堰」（平成17年に疎水100選認定）。遊歩道が整備され、堰には鯉が泳ぎ、住民の憩いの場となっている。



公共施設への杉材の活用も積極的に行われており、平成16年に完成した屋根付木橋の「きごころ橋（橋長60m）」。